

# 第10回研究全体会

日時 令和6年2月21日(水) 14:30-15:45

テーマ 今年度の研究を振り返って ～前回の研究授業で見た「主体的な学び」とは?～

## 1 校長より

前回の3つの授業のどういうところで児童の「主体的な姿」は見たのだろうか?

どんな姿を「主体的な姿」として見取れば良かったのだろうか?

→ 「子供が夢中になって遊んでいる時のような姿」 このような姿が学びの時になかったのか?  
子供は遊びからしか学べない。もし、普段の学習が遊びのように楽しかったら・・・?

## 2 授業者より、授業の前後の子どもたちの様子の報告

### 《2年生算数》

前回の協議会で「活動あって、学びなし」という意見があったが、授業中に子供たちが「目を輝かせて」「必死になって」という姿ははっきり見取ることができた。次の授業でもまだ前時の興奮が残っている様子で、さらに体験を共有する中で学びが深まっていたことが見とれた。また、子供たちの感想にも、子供たちの学びがあふれていた。普段、ふりかえりを書くのが苦手な子でも、しっかり分量的にも多く書いている様子が見られた。子供たちに任せて、主体的な活動を取り入れたおかげで、とても満足度の高い授業となったことがわかった。



### 《3年生理科》

「これを調べたい」と、自分の選択で考えるところは「遊び」に近い姿を見ることができた。次時に、授業の目的とは違うことを報告する子どもたくさんいたので、目当てが達成されたとは言い切れない。「遊び」から「学び」にするのは何?

しかし、次の時間「磁石に引きつけられるものは…」とある子がまとめたものを使って、それを「銀色のものは磁石にひきつけられるのか? 銀紙も引きつけられるのか?」など、みんなで吟味することができたり、以前学習した電気の性質と合わせてまとめをする子ども出てきた。まとめ方については、西留先生に紹介していただいた4人が同時に書くシートを使って書かせてみたが、普段一人だと書くことのできない児童も、相談しながら自分のまとめを書くことができていた。自分の考えをもてない子ども、協働的な学びの中でもつことができるようになっていく様子が見られた。

### 《5年生体育》

「遊び」に夢中になっているような様子は、子供たちが作戦を考えている時に見られた。しかし、はじめは作戦ボードを見ながら夢中になっていたが、その後、ボードをみる子供たちが減ってしまい、「作戦はうまくいかない。」「練習をしたい。」という姿に変わっていった。

前時は、子供たちがボールを持ってどう動いていいかわからない状態だったが、回数を重ねるたびに次第に動くことができるようになった。課題は、ゲームをしていない、見ているだけ子供たちが、他の人の動きを見ていないので、それを学びにつなげさせたい。

### 3 3つ授業に見られた姿の共通点は？ (グループ討議)



- ・結局 何を学ぶのか？
- ・教員のねらいと子供ねらいが 一致しなくても良い
- ・教師側がきちんと「仕掛け」をすることが必要では？
- ・自由にさせることで広がることとまとめることとどうすればよい？
- ・ゴールを明確にさせることが大事
- ・今までは「やってみよう」と先生が設定していたが、ゴールを達成するために子供たちで考えている姿が見られた。
- ・協働的な学びだったからこそ。

### 4 来年度へ向けて 校長 (資料あり)

- ・前回の授業では、第1段階としての「子供たちの主体的な学びが見られた」と言えた。
- ・学びの質という意味で、精度が上げるために私たちは研究している。自由進度型学習等は、研究しなければできない。今年度はそこまでは行かれなかった。
- ・今年の成果としてわかったことは、受け身の授業（一斉指導）では児童の主体性は出てこない。協働的な学びの中に主体的な姿は生まれる、ということがわかったこと。
- ・私たち教師は、子供の「遊び」の中に「学び」を見取る力を身に付けなければならない。子供は遊びの中で学んでいる。
- ・だから、令和の日本型学校教育を支える教師は、ティーチャーではなく、ファシリテーター・コーチ・伴走者、一緒に考えてあげる人という転換が必要になる。
- ・また、教えるのは知識（コンテンツ）ではなく、学び方（コンピテンシー）である。
- ・子供の学びを見取り、的確に評価することによって、子供の学びを強力にバックアップする。ゴールに向かう勇気やモチベーションを高める。
- ・そのために、先生が話をしている時間を極力削り、子供たちがどんどん話をする時間をメインにする必要がある。子供たちの思いを表現させることを、教師が止めてしまってはならない。思う存分表現させて、「今日はいっぱい話した！」と満足させて下校させたい。
- ・私が今、仮説として考えているのは「子供が主語になる学校、子供が主体的に学ぶようになれば、これまで学校が抱えてきた様々な問題を一括で解決することができる」というものだ。

NHKスペシャル「君の声が聴きたい」

”学校”の未来～不登校30万人から考える 前編「山形県天童市立天童中部小学校の挑戦」

(15分)を全員で視聴 [https://www.nhk.or.jp/campaign/koe/kodomo/kiji\\_20240127.html](https://www.nhk.or.jp/campaign/koe/kodomo/kiji_20240127.html)

### 5 副校長より

今日は、前回の授業で子供たちの主体的な姿が見られたということ全員で確認できたことは大変意義深いことです。これから、来年度の研究につながる全体会となりました。